

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	数学B	単位数	1単位 (1・2学期)	学年・学科・コース	3年・普通科・普通コース(理系)
使用教科書	高等学校 数学B(数研出版)		副教材等	チャート式 解法と演習 数学B(数研出版) クリアー数学B(数研出版)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	数列について理解を深めさせ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
数列についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
6 7 8 9 10	【復習】 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列	・数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	○			・等差数列の公差、一般項、等比数列の公比、一般項などを理解している。 ・等差数列、等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。 ・数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。	定期考査 授業態度 課題
7 8 9 10 11	【復習】 第2節 いろいろな数列	・和の記号 Σ の表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。	○			・和の求め方の工夫をして、数列の和が求められる。 ・初項から第n項までの和に着目して、一般項を考察できる。 ・数列の規則性を、隣り合う2項の差を用いて発見しようとする。	
8 9 10 11 12 1 2	【復習】 第3節 漸化式と数学的帰納法	・数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また、数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。	○			・初項と漸化式から数列の一般項が求められる。 ・複雑な漸化式を、おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。 ・おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。	